

上中通信

学校だより 3号

令和5年6月27日

発行：上湧別中学校

令和5年度重点目標 互いを尊重し、聴き合い、学び合い、育ち合う生徒の育成

「わからない」は学びの第一歩

湧別町立上湧別中学校 校長 綾部 雅一

わからないことを人に聞くのが苦手な人というのは少なくないと思います。「恥ずかしい」「こんなこともわからないのかと思われたらどうしよう」。そんな風に思い始めると、どんどん聞けなくなってしまいます。正直なところ、私自身も決して得意なほうではありません。旅先などで道を聞いたりするのもつい気が引けてしまいます。得意な人をみて羨ましいなと思うこともあります。

しかし、わからないこと自体はそんなに恥ずかしいことではありません。例えばメジャーリーグの大谷選手であっても、野球のことでわからないことが多かった時代はあったはずです。（そこから現在の大活躍までの努力と成長の幅は人並外れています）。

本校の生徒たちにも、わからないことが決して「恥ずかしいこと」だとは思ってほしくありません。「わからない」と頭の中に浮かぶのは、目の前の物事について思考していないと生まれない状態だからです。生徒が「わからない」と思えることは学びの第一歩であり、そこから「知りたい」「学びたい」に転化させ、学びに向かう生徒を育てるのが教師の仕事だと考えています。



教育は子どもの自立を目指して行うものですが、自立の第一歩は「他者依存」と言われています。「他者に依存できる子どもは自立できる」という考え方です。前号でも本校生徒の素晴らしい姿を紹介しましたが、今年度は、わからないことを「わからない」と言える関係（他者依存）が少しずつ広がり、互いの学びをケアし合う姿が着実に育まれつつあると感じています。

そのような他者依存の関係を土台に生徒が主体的・対話的に深く学ぶ授業のあり方を、教職員も日々学んでいます。昨年度から町の授業改善事業をとおして年3回、北海道大学大学院の守屋淳教授を招聘しての研修会を行うとともに、来月7月11日（火）には東京大学の佐藤学名誉教授をお招きし、本校にてご講演いただく予定となっております。佐藤教授は、生徒だけでなく教職員も保護者も共に学び合う「学びの共同体」という理念を提唱されています。保護者・地域の皆様も聴講のご希望がございましたら、ご遠慮なく学校までご連絡ください。

教育のあり方にゴールはありません。私たち教職員もわからないことを一つ一つ学びながら、全ての生徒たちの学びを保障できるよう、より良い教育を目指して研鑽して参ります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

佐藤 学 教授 プロフィール

1951年広島県生まれ。学びの哲学に基づき「学びの共同体」の学校改革を提唱・推進
東京大学名誉教授・北京師範大学客員教授

上湧別中学校 授業づくり研修会 佐藤 学 教授 講演
演題「ポストコロナ時代の学校改革と学びのイノベーション」

日 時 令和5年7月11日(火) 13:40~15:40

場 所 上湧別中学校 体育館

上湧別中学校運動会開催

～延期の末、絶好のコンディション～

3日(土)に予定していた運動会が悪天候により延期になりました。予報通り土曜日と日曜日は雨でグラウンド状態が心配されましたが、なんとか月曜日に回復し火曜日に無事開催となりました。当日は平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にお越しいただきました。本当にありがとうございました。生徒たちはどの競技も一生懸命に取り組み、全力を尽くした様子でした。特に3年生は運動会を盛り上げようと最上級生らしい振る舞いだったと感じます。今後、中体連や学校祭などまだまだ行事はありますが、生徒の皆さんのますますの活躍を期待したいと思います。





日	曜	学校行事	生徒会	日課	給食	部活	バス
1	土						
2	日						
3	月	眼科検診		6	○	○	15:40 / 18:24
4	火	職員会議 フッ化物洗口		5	○	○	14:30 / 18:24
5	水	2年生二者面談①		6	○	○	15:40 / 18:24
6	木	2年生二者面談②	各種委員会	5	○	○	14:30 / 15:40 / 18:24
7	金	2年生二者面談③		6	○	○	15:40 / 18:24
8	土						
9	日						
10	月	フッ化物洗口		6	○	○	15:40 / 18:24
11	火	上湧別中学校公開研究会 部活動中止		4	○	×	12:50
12	水	2年水泳授業		6	○	○	15:40 / 18:24
13	木	職員会議 心臓検診		5	○	○	14:30 / 18:24
14	金	2年生水泳授業		6	○	○	15:40 / 18:24
15	土						
16	日						
17	月						
18	火	フッ化物洗口		6	○	○	15:40 / 18:24
19	水	わくわく号 1年水泳授業		6	○	○	15:40 / 18:24
20	木	部活中止		5	○	×	14:40
21	金	1年水泳授業 PTA 研修会 19:00~		6	○	○	15:40 / 18:24
22	土						
23	日						
24	月	大掃除、夏休み前集会 全道中体連、吹奏楽部壮行会		6	○	×	15:40
25	火						
26	水						
27	木						
28	金						
29	土						
30	日						

生徒・保護者の皆さんへ

心のホットライン

～心身症と神経症～



今日は心身症・神経症についてご紹介します。

文字通り「心」と「身体」が病んでいる状態を心身症と呼びます。受けたストレスを身体、特に身体臓器を通じて表現されます。心身症はストレスでおきる体の病気ですから、原則的に体の治療に並行して精神医学的な治療を施していきます。主にカウンセリングや自律訓練法、行動療法などが保険診療の中で行われておりますが、身体的な症状に対する適切な処置がまず大切です。

神経症はさらにこの心身症が重くなった症状の一部で、不安なことがあると「いかにも不安がある」といった言動が頻繁に見受けられることもあります。神経症はストレスによって引き起こされる精神症状（不安・強迫・抑うつ・恐怖・不眠）を伴いほとんどのケースでは自分が神経症だと認識していません。専門機関での治療がいちばん有効ですが、特に大切なことは本人自身がその精神状態に気づいていることです。

こういった心身症や神経症に子どもがかかるケースはもちろんありますが普段からストレスを感じながらそれを発散できない大人も知らずに陥っている場合があります。普段から上手にストレスを発散する方法があれば良いですね。

学校便りでは定期的に教育相談（カウンセリング）や心とからだに関わる内容をお届けしています。中学生は色々な思いや考えを巡らせる多感な時期です。少しでも役に立つような情報が提供できればと思います。また悩みなどが抱えきれなくなる前に遠慮なく先生方に相談してくれたらありがたいです。

